

ロング・レール作業

伊知地 堅一 著 鉄道現業社刊

ロングレールは、列車の継目通過時における騒音、衝撃を解消して、乗心地の向上と保守の軽減に資するため、全国各地に敷設されつつあるが、技術的にはこれを可能にする種々の前提条件があり、長い試験期間と、PCまくらぎや締結装置の改良、溶接技術の向上など、各種の関連技術の進歩によって、初めて実用の段階に達したものである。

本書は、これら最新の保線技術の集大成ともいえるべきロングレールについて、技術的な諸点をいちいち克明に説明し、深い内容と平易な文章で、ロングレールの理論、経済性、敷設条件、保守条件、取り扱い上の注意など、ロングレールについてあらゆる問題を網羅しているとともに、諸外国におけるロングレールの特徴と取り扱い面の比較など興味深く記述されている。このように、ロングレールに関する事項を細大もろさず書か

れた本は、わが国ではもちろん、諸外国においても恐らくその例を見ないのではないかと思われる。

著者がその序文で述べているように、ロングレールの温度伸縮理論、座屈理論、および最近行なわれたドイツ国鉄の座屈試験などについてさらにくわしく述べられたなら、ロングレール論として完璧な内容となったと考えられるが、ロングレールに関するこの種の類書を見ない現在、ロングレールの保守、計画にたずさわる人はもちろん、ロングレールに興味を持たれる人々への参考書として広く推奨できる。

著者：正員 国鉄盛岡鉄道管理局長

体裁：B6判 270ページ 定価 450円 1963.6.15.刊
 鉄道現業社；東京都港区新橋4の1 振替東京 1586番
 電話 (571) 2595番

(運輸省 大阪陸運局 鉄道部長 安藤 栄・記)

—室内音響の理論と実際とを極めた便覧—
建築音響工学
ハンドブック

最新刊
 発売中

日本音響材料協会編 委員長 東京大学建築学科 教授 工博 平山 嵩

内容見本送呈

本書は、建築家が常時座右に置いて室内設計に資するに便利なよう理論を簡明に解き、十分なデータを提供した便覧である。建築設計者はもちろん、学生、実務家、現場技術者および電気技術者が室内音響の理論と実際とを極めるには最良のハンドブックである。

体裁 A5判・1100頁
 定価 4,000円・千120

【主要目次】基礎 (建築音響用語、音波の基本的性質、ほか) 室内音響 (過度的音響状態、定常的音響状態、ほか) 音響材料 (吸音材料、ほか) 騒音 (騒音とその影響、ほか) 音響設計各論 電気音響設備

技 報 堂

東京都・港区赤坂溜池
 電話東京481-8581(代)
 振替口座東京10番

軽量形鋼建築便覧

軽量形鋼建築便覧編集委員会編
 A5判・定価 2,000円

建築の透視図と模型

都立大学教授、工博 中村 伸 編
 B5判・定価 1,200円